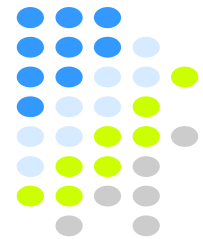


とっとり・グローバルウォッチ

とっとり貿易支援センター情報誌



2010年5月18日

VOL. 42

最新上海 ～現地レポート～ 26

上海万博体験レポート

万博の開幕は4月30日現地時間午後8時の開会式から始まった。

開会式の模様がテレビで中継され、上海の黄浦江の両岸に及ぶ大規模で豪華なエキシビションと花火に、この万博にかかる中国の意気込みと勢いを改めて感じるとともに、期待も高まった。開会式では、中国大陸のアーティストの他、香港出身のジャッキーチェン氏、上海音楽学院にも招聘されている谷村新司氏が登場し、北京五輪のときよりも民族色を抑えた、世界との交流や融和を強調したものであった。

上海万博が開幕してから1週間程経過したが、思いのほか、市内の混雑は見られない。万博のために、上海市では5月1日から3日までのメーデー連休に加えて4月30日と5月4日も祝日としたため、上海市では5連休となり、この大型連休に万博ではなく、旅行に行く人も多かったようだ。また、上海在住者であればいつでも行けるという考えからか、1日から3日までの連休と重なる指定日^{※1}における来場者は累計55万人で、当初予想されていた100万人を大きく下回った。4日は開幕最初の普通日^{※2}であり、指定日に比べチケットも安くなり、上海では祝日となったため、最も混雑するとみられていたが、14万3000人とどまった。平日の5日には8万5000人となり、入場者数の伸び悩みが懸念されているが、上海市政府から上海に半年以上居住している各家庭に対し、万博チケットが無料配布される頃から、本格的な混雑が始まるのかもしれない。さて、筆者は今年4日、万博に参加してきたのでその体験をもとにレポートする。

※1 万博会期中184日のうち、5月1～3日（メーデー連休）、10月1～7日（中国の建国記念日休暇にあたる国慶節連休）、10月25～31日（開幕前の一週間）の計17日間

※2 上記指定日以外の167日間

■入場方法は計画的に

会場はとにかく広い。訪れたい国家館や産業館、企業館をある程度事前に決めておき、それに近いゲートから入場するようにお勧めしたい（会場エリアと入場ゲートや交通手段については本誌41号参照）。筆者は日本館、中国館が並ぶゾーンA（東アジア及び西アジアの国家館）を参観しようと思っていたので、メインゲートの上南路ゲート（6号口）から入場した。午前9時の開園に備え、午前8時には到着したものの、既に長蛇の列ができており、折りたたみ椅子を持参して座りこみ、開場を今か今かと待ちわびる人で溢れていた。9時になって開場したが、開幕直後ということもあり厳重な荷物検査が行われており、実際に入場できるまでには40分ほどかかった。（写真下）



■予約端末での参観予約はお早めに

中国館、香港館、マカオ館、台湾館などの人気パビリオンのいくつかは会場内に設置されている予約端末で予約チケットを入手しなければ参観できない。上記の通り、やっとのことで入場し予約端末に向かったが、ここでも長蛇の列。筆者が訪れた今年4日には、午前中にほぼ全ての予約を必要とする国家館のチケットがなくなっていた。ちなみに中国館は万博終了後も展示される（館内の参観も可能かどうかは不明）。一方、日本館は予

目次

最新上海 ～現地レポート～ 26	P 1～ P 3
新メンバーのご紹介	P 3
現地発！ 台湾月刊レポート 35	P 4 P 5
FOOD TAIPEI 2010 に出展します	P 5
お知らせ	P 6

世界の祝日 6月

■中国	14～16日	端午節
■香港	16日	端午節
■韓国	2日	統一地方選挙
	6日	戦没者慰霊日
■ロシア	12日	独立記念日
	14日	独立記念日の 振替休日

出所：ジェトロ通商弘報
「世界の祝祭日2010年版」から

約制ではなく、並ばなければならないため、日本館に向かった。その後、ゾーンAにある韓国館、インド館、サウジアラビアなどのアラブ諸国の国家館、そしてゾーンCのアメリカ館など、18の国家館を参観することができた。日本館、韓国館、アラブ首長国連邦館ではそれぞれ約1時間半の待ち時間が必要だったが、それ以外は長くても30分程度の待ち時間だった。また、アメリカ館は日中2時間ほどの待ち時間が必要だったらしいが、閉館直前に参観したため、待ち時間はほとんどなかった。

■各国家館のカラー色々

国家館の中身や内容については、各ホームページなどで紹介されているためここでは割愛するが、これらの国家館を参観してみて感じたことは、万博での国家館は国家の縮図のようで、国家館の規模や内容、アピールポイントなどがその国らしさを表しているということだ。たとえば、アラブ諸国の国家館で言えば、オイルマネーで潤うアラブ首長国連邦やサウジアラビア、オマーンなどの国はきらびやかで壮大な建物だ。これらの国家館は独自の文化と見せ方を熟知しており、「素敵なお国だ、旅行に行ってみよう」と思わせるような観光意欲をかき立てさせる内容で、また彼らの目的もその点にある。



日本館、中国語の愛称は“紫蚕島”。

一方、アメリカ館の建物はこれといったアメリカらしさを感じさせる特徴はなく、近代的な造りで、内容もアメリカの歴史や文化といった内容ではなく、誤解を恐れずに表現すれば、「中国の人々を教育する」という印象を持った。内容は、マナーや思いやりの重要性を説いたもので、教育を通じて周囲の人々や自然を慈しむ心を育てることで素晴らしい街づくりに繋がるというものなのだが、さすがハリウッドの国、短い映画のようなストーリーで、時に特殊効果も使って楽しませつつ、参観者に感動を与えた。

さて、日本館は、筆者が参観した国家館の中でも最も待ち時間、参観時間ともに長く、ハイテクな展示内容であった。遣隋使以来の日中の交流から現在の日本が誇る科学技術の紹介という長い歴史を、様々な展示とショーによって約1時間かけて参観する見応えのあるものだった。

そして、日本の皆様が日本館や中国館と並び気になっていたのが、初めての万博参加となる北朝鮮館ではなかろうか。日本では、拉致問題や核問題で非常に悪い印象

があるとともに、両国間の往来も頻繁でないことから未知の国という感じだが、中国人から見ると30年前の中国と似ているのだ。北朝鮮館内の職員は金日成バッジ（非売品）を着用しており、館内では記念ポストカードや切手、文房具などが販売されており、日本人や韓国人、欧米人観光客で買い求める人が多かった。

筆者は東南アジア諸国やアメリカ以外の欧米諸国の国家館には入場できなかったものの、外観を見るだけでも面白い。また、今回は浦西側の企業館や産業館を中心に参観してみたい。

■気になるトイレと飲食事情

筆者が訪れた今月4日に来場したのは14万3000人だが、当初万博当局の予測では一日あたり約40万人、ピーク時には70万人の来場を見込んでいたため、トイレでは全く並ぶ必要がなかったどころか、余っていたほどだ。そのため女性用トイレのうちの何箇所かは半分閉鎖しているところもあった(写真下)。予測どおりの来場があった際には、さすがに並ばなければならないだろうが、それほどの混雑にはならないようだ。ちなみに、和式と洋式があり、「TOTO」の便器が使用されている。



飲食事情については、昼食や夕食時はやはり混む。飲料水以外の食べ物の持込は許可されていることや会場内にコンビニもあるため、野外で食べる人も多い。そのため、バナナ、みかんの皮が道端に捨てられており、こんなところにも中国らしさを感じる。会場内には飲み物を持ち込めないため、これからの暑い時期、気になるところだが、あらゆる所に移動式スタンドがあり、飲み物やアイスが販売されているし、無料のウォータークーラーもあるので安心だ。しかし、このウォータークーラーの水は少し臭いを感じるため、日本人には抵抗があるかもしれない。会場内で販売されている飲食物は会場外と比べ、2～4倍の価格だ。開園は9時、閉園は12時(国家館、企業館、産業館などは午後10時前後に閉館)のため昼食と夕食を会場内で済ます人も多く、午後8時には大体どの店でも売り切れ状態だった。

■会場内の移動

会場内は無料の電動バスが約5～7分おきに運行していてとても便利だ。ゾーンを跨ぐ移動や浦東から浦西への移動の際などはこのバスを利用して、効率よく参観するのが賢明だ。また浦東から浦西への移動にはフェリーを利用して面白い。

<次頁へ続く>

■上海万博に参加して

まだ開館していない国家館があり、予想通り列に並ばない人々に遭遇したものの、また訪れたいと思わせることは非常に素晴らしいことだと思う。万博はまだ始まったばかりだ。対応スピードの速い中国なので、数ある問題点もこれから半年間の間に改善されていき、より一層人々を魅了する万博が作り上げられていくことを期待したい。

■万博での鳥取県イベント開催のお知らせ

8月中旬から下旬にかけて、鳥取県は日本館イベントステージでイベントを開催する。またそれに併せて、上海市内の百貨店等で鳥取県物産展を開催し、県産品の展示販売を行う。物産展では、食品だけでなく、民芸品の展示や伝統芸能が披露されるなど、エンターテインメントたっぷりのイベントになり、幅広い層の来場者が期待される。

【(株)チャイナワーク 孫】

新メンバーのご紹介

ジェットロ鳥取貿易情報センター 所長 成田氏

4月よりジェットロ鳥取貿易情報センターに赴任して参りました、成田裕介と申します。この度、本誌に初めて寄稿させていただきます。

■米国から鳥取へ

鳥取に来る前には、ジェットロの東京本部に勤務しておりました。東京では産業技術部という部署に所属し、日本企業と外国企業の産業技術に関する業務提携のお手伝いや、科学技術分野の国際人的ネットワーク形成等の事業に携わりました。特に日本の原子力発電分野の国際展開に関する仕事では、インドネシアやベトナムにおける原子力発電の導入について、日本としての支援のあり方を探るため、現地に出張するなどの日々を送っておりました。

また、2002年から2007年にかけての前回の赴任では、米国のアトランタに駐在し、主に経済調査分析や現地に進出している日系企業の支援の業務に携わりました。アトランタは米国南部のジョージア州の州都です。ニューヨークやロサンゼルスほどには、日本では馴染みが薄いかもかもしれませんが、人口約500万人を抱える南部有数の都市です。もしかしたら、映画「風と共に去りぬ」と聞けば思い出す人もおられるかも知れません。アトランタが舞台のこの映画の原作を書いたのがマーガレット・ミッチェル。彼女が本を執筆した家がまだアトランタにあります。また、公民権運動家のマーティン・ルーサー・キング牧師や、ジミー・カーター第39代米国大統領を輩出した土地でもあります。アトランタには、コカ・コーラやCNNといった世界有数の企業が本社を構え、アトランタ空港やサバナ港などを通じた貿易も盛んに行われています。アトランタ空港はデルタ航空のハブ空港であり、シカゴ空港と並んで全米でも旅客数の最も多い空港のひとつです。

今回、縁あって初めて鳥取の勤務となりましたが、アトランタや東京での私のこれまでの経験を活かし、鳥取県内の企業様の支援、ひいては鳥取県経済の活性化に微力ながら貢献したいと考えております。

■皆様のジェットロです

ジェットロ（日本貿易振興機構）は独立行政法人として国内36カ所、海外71カ所（55カ国）に事務所を構え、主に日本の貿易や投資の振興に関する事業を行っています。また、アジア地域を中心とした調査研究も行っています。

ジェットロの鳥取貿易情報センター（ジェットロ鳥取）は1996年に開設されました。これまで約15年に渡り多くの鳥取県関係者に支えられ、県内企業が国際化に対応するための情報提供や支援事業の実施に努めて参りました。最近では、地域間交流支援事業（Regional Industry Tie-Up Program: RIT事業）や見本市出展事業などを中心とした活動を行っています。RIT事業は、国内と海外の産業集積地間の交流とビジネス・マッチングを促進するためのプログラムです。また、見本市出展事業では、海外ビジネスにご関心をお持ちの企業様のために、国内外の展示会や商談会を各種ご紹介いたしております。

さらに、ジェットロ鳥取では製造業や食品加工業を中心とした個別企業の海外進出支援にも力を入れています。私も着任早々に、鳥取県庁の主催により米子市で開催された「アメリカ食品輸出セミナー」（4月13日）に相談役として参加しました。セミナーには、新鮮な素材を優れた技術で商品化する食品加工業の皆さんが集まっておられ、まさに「食のみやこ鳥取県」の印象を新たにしました。次第です。

ジェットロ鳥取は、鳥取市若葉台の鳥取県産業振興機構と同じ施設に事務所を構えています。また、同機構に加え、西部のさかいみなと貿易センター及び境港貿易振興会とともに「とっとり貿易支援センター」を組織し、鳥取県内企業の国際展開支援のための連携を図っております。これから鳥取の皆様のために邁進して参りますので、どうぞよろしくお願ひします。お気軽に事務所にもご訪問下さい。



米ジョージア州の
ソニー・バー
デュー知事と

★ジェットロ鳥取貿易情報センター★

所在地：鳥取市若葉台南7-5-1

電話：0857-52-4335 F A X：0857-52-4336

URL：www.jetro.go.jp/jetro/japan/tottori/

【ジェットロ鳥取貿易情報センター所長 成田】

現地発！台湾月刊レポート 35

台湾の給与水準と台湾経済の今後

台湾の給与を具体的に取り上げてみる。年収分布ならびに月収の推移。日本との比較を見て欲しい。また今後台湾経済を占う上で、ホットな話題、ECFA（兩岸経済協力枠組み協議）問題を解説する。

面白い記事があったので取り上げたい。「年収百万元（300万日本円）超は、全台湾でたったの8%」（天下雑誌）。年収百万元を超えるのが、台湾人サラリーマンの夢である。しかし実態は、たったの8%の人しかいない。主計処が最近発表した「家庭収支調査」によると、台湾で収入のある仕事をしている人のうち、一年間の給与、ボーナス、バイト、投資など全ての収入を合わせた場合、中間にあたる層の額は約40万台湾元（120万日本円）。年収100万元（300万日本円）超は、全台湾でたったの8%であることが判明した。さらに、年収200万元（600万日本円）超は、全台湾で1%で稀有中の稀有である。台湾全人口2,300万人のうち、12万人しかいないことになる。男女の差は、中間層の40万台湾元クラスではあまり変わらないが、40万台湾元を超えると、男性が458万人、女性が200万人となり、2倍強の差となった。

你的所得排第幾？



出所：天下雜誌

■景気回復で平均月収はUP

では、月給ベースではどうなっているのだろうか。台湾国内市場は、回復している。上班族（サラリーマン、OLの総称）の月収もUPしているようだ。主計処によると、本年2月の月収調査では、平均35,722台湾元（107,000日本円）であり、4ヶ月連続で増加している。主計処が調査した年末ボーナスの支払状況は、エネルギー関係の従業員が月収に対して3.59ヶ月（約40万日本円）の支給でトップに。2位が、リーマンショックで最も傷を負った金融業が2.58ヶ月。水道関連業界が1.98ヶ月で3位。台湾全業種の支払平均は1.43ヶ月（約15万日本円）。昨年が1.23ヶ月であるから、企業の景気がよくなっていることを示している。ただし、金融危機前は1.51ヶ月だったことを見ると、まだまだ回復していないことがわかる。2月の国内上班族毎月平均月給は、35,572台湾元、昨年比1.4%増加で既に連続4ヶ月の成長を続けている。1、2月で見ても、昨年比2.64%の増加率であり、ここ10年で最も高い幅の増加を示した。消費者物価指数(CPI)

を割り引いても年に1.29%の増加である。台湾の景気が回復していることが収入からも読み取れる。

上班族 平均月給推移		
年	平均毎月月給(台湾元)	増加率(%)
2001	34,095	1.73
2002	34,523	1.26
2003	34,602	0.23
2004	34,906	0.88
2005	35,023	0.34
2006	35,490	1.33
2007	35,903	1.16
2008	36,538	1.77
2009	35,222	-3.6
2010	35,912	2.64

(聯合報2010.04.23)

日本人の初任給が、20万/月、240万円+α/年ということ考えると、日本の給与がいかに高いかが分かる。数年勤務した日本人の若者が、台湾の8%の「金持ち」に分類されてしまうのだ。皆さんは、「富裕層に売る」、とよくおっしゃるが、富裕層に売るということは、市場が100万人程度しかいないことを理解していただいだろうか。ただし危惧することもない。消費意欲は、旺盛であるからだ。台北から日本行きの飛行機は、いつも台湾人で満席。ということで、市場調査が絶対に必要である。台北で毎年6月に開催される国際食品見本市「Food Taipei」などで調査をすることは、とても有効である。ちなみにバス代は、台湾が15元（45日本円）日本は東京だと200円で4倍強。マクドナルドのビッグマックは、台湾が75元（225日本円）、日本が290円。1.3倍。全体を考えると、私の感覚では2倍強。日本に旅行に行く台湾人に言わせると、3倍の差があるという。このあたりの感覚で、考えたらいかがだろうか。ただし、自分の眼で実感していただきたい。

■台湾の背後に広がる大陸市場を狙う

さて、このまま台湾は回復軌道にのるのか。避けて通れない話題が、ECFA（兩岸経済協力枠組み協議）問題。ECFAとは、FTAの大陸—台湾版のこと。

「報喜也報憂」中国大陸と台湾の締結は、台湾経済面にとってとてもいいニュース。しかし政治面では、台湾の独立を考えると憂いを持つニュースになってしまう。という意味だ。経済面では、明らかに調印したほうが良い。中国大陸市場は、欧米の景気回復が遅れる中、とても魅力的である。全世界では、FTAが400ヶ国で締結される中、大陸の妨害によって、台湾は締結できない状況が続いていた。関税によって競争力がなくなる状況下では台湾の将来も暗い。現実を直視すると回避できない状況にあらう。台湾独立派にとっては、避けたい状況なのだ。締結反対の国民投票の動きも起こっている。しかし

今後も生き続けるための選択をしなければ台湾に将来がない、というジレンマにも陥っている。ちなみに枠組み締結は、6月が現実視されている。これに伴い台湾M字型社会も顕著になっており、富の再分配が問題になってきた。不動産は、異常な高騰を続けており、6月の締結後は、大陸からのHot Moneyも流入が予想されることからサラリーマン、OLも口々に、どの不動産を買えば良いか、と議論をしている。ちょうど日本のバブルを見るような既視感を覚える。ということは、ピークだと私には思えるのだが。大陸のバブルが弾け、台湾も一時的に景気が下降線をたどるかもしれない。ただ、長期的に見ると、台湾で一定の市場を確保することは、背景にある大陸との市場を考えた場合、ECFA調印を考えた場合、大きな市場を狙えることにもなる。ぜひ挑戦していただきたい。

ECFA詳細については、以下のURLを参照して欲しい。两岸経済協力枠組み協議（ECFA）に関するQ&A（定義、内容）

★大阪弁事処

<http://www.taiwanembassy.org/ct.asp?xItem=87625&ctNode=5660&mp=247>

ECFAの抱える問題。

★東亜春秋

台北支局長・山本勲

ECFAで真っ二つの台湾 産経新聞

<http://sankei.jp.msn.com/world/china/100427/chn1004270254000-n1.htm>

【(株)スナーク 富田】

FOOD TAIPEI 2010に出展します 鳥取県内企業6社がチャレンジ!

財団法人鳥取県産業振興機構では、海外初心者の方の県内企業に海外販路開拓のきっかけとなる場を提供する目的で、台湾・台北市で毎年開催されている国際食品見本市「FOOD TAIPEI」にこれまで4年連続で出展し、台湾の食品市場への販路開拓を支援してまいりました。

5回目の出展となる今年は、鳥取県内企業6社が台湾市場へチャレンジします。

■台湾コーディネーターが強力にバックアップ

ただ見本市に出るだけでは、その後の商売に繋がる可能性は低いので、台北にいる当財団の台湾コーディネーター（(株)スナーク）が現地で様々な支援を行います。具体的には、各出展企業にあらかじめ台湾市場での戦略を伺い、それに基づいて台湾コーディネーターが有望と思われるバイヤーを選定、会期1ヶ月前に当財団職員とともにそれらのバイヤーを訪問し、鳥取県出展企業のPRを行います。出展企業に代わって行うこの“事前商談”の結果、出展企業は会期中の商談をスムーズに進めることができます。

ちなみに見本市以外でも、現地バイヤーの紹介や商談の際の随行・通訳など、台湾コーディネーターが随時お手伝いいたします。（別途、有償）



■見本市概要

名称：FOOD TAIPEI 2010

（第20回台湾国際食品見本市）

日時：2010年6月23日（水）～26日（土）

午前9時～午後5時

会場：台北ワールド・トレード・センター南港ホール

主催者：TAITRA

■昨年実績

●FOOD TAIPEI 2009概要：

出展国数 825社

出展国数 23カ国・地域

来場者数 46,655人

●当財団ブース出展概要：

9社（6ブース）、ほか1社が単独出展

●当財団商談件数：

会期中188件（うち、成約3件、成約見込8件）

「FOOD TAIPEI 2010」会期中に台湾を訪れる機会がありましたら、是非会場へお越しください。

《写真》昨年出展の様子



【(財)鳥取県産業振興機構海外支援グループ 早川】

お知らせ

「メゾン・エ・オブジェ2011」 のご案内

出品実績そのものがブランド力を動かす影響力を持っており、これまでに多くの出品者が欧州をはじめとする海外への販路開拓、ブランディングの場として活用し成果をおさめている見本市です。

- ★会期：2011年1月21日～25日
- ★会場：ノールヴィルパント見本市会場（フランス・パリ）
- ★出品分野：インテリア小物、テールウェア、ギフト ほか
- ★ジャパンプース募集小間数：40
- ★申込締切：6月24日
- ★問合せ、申込先：
ジェットロ展示事業部海外見本市課
（担当：内藤、和波、根本）
電話：03-3582-5183
FAX：03-3505-0450

「2010 中国国際工業博覧会」 のご案内

本見本市は、中国における環境や省エネルギー・新エネルギー分野でのビジネスを開拓する上で良い機会となります。

- ★会期：2010年11月9日～13日
- ★会場：上海新国際博覧中心（中国）
- ★主催：国家発展改革委員会、商務部 ほか
- ★出展対象業種：水、大気、省エネルギー・新エネルギー ほか
- ★日本パビリオン規模：120小間
- ★申込締切：7月16日
- ★問合せ、申込先：
ジェットロ展示事業部海外見本市課
（担当：軍司、堤、竹内、中村）
電話：03-3582-5183
FAX：03-3505-0450

「第4回上海輸入商品博覧会」 のご案内

本博覧会は4年前から開催されており、中国市場の国際ブランドへの需要にあわせて、各国中小企業のブランド及び製品の上海市場へ向けた販路開拓のためのビジネスチャンスを提供しています。

- ★会期：2010年8月26日～29日
26、27日 ビジネスデー
28、29日 一般入場デー
- ★会場：上海展覧中心
- ★主催：上海市商務委員会、上海市経済和信息化委員会
- ★料金：一般ブース15,000元
特設ブース1,500元/m²
- ★第一次出展申込締切：5月31日
- ★問合せ、申込先：
《日本運営事務局》ワヨ一(株)
電話 03-3866-1993

編集後記

一時、韓国ドラマをきっかけに韓国を訪れる日本の女性が増えました。現在はその“韓流熱”もかなり落ち着いてきましたが、あいかわらず韓国を訪れる日本人はたくさんいます。

ソウルを訪れると、日本人の多さに驚くのはもちろんですが、日本人向けサービスの多さにもビックリします。例えば、レストランやカフェには日本語のメニューが置いてあり、ショップの店員さんは慣れた日本語で話しかけてくれます。韓国語ができない方でも、何とかこなしてしまうのです。

今年6月末には、鳥取県と友好提携を結んでいる韓国・江原道へ鳥取県江原道経済交流団が派遣され、同時期にDBSフェリー就航1周年記念展示商談会も開催されるなど、鳥取県と韓国との結びつきはますます強くなります。

まだ若干円高の今、観光もビジネスも熱い韓国へ、一度足を運んでみられてはいかがでしょうか？【zao】

『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしております。メールでお気軽にお寄せください。また、受信希望（無料）の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：（財）鳥取県産業振興機構 企業支援部
海外支援グループ（担当：早川）

E-mail：kaigai@toriton.or.jp
TEL：0857-52-6703 FAX：0857-52-6782



とっとり貿易支援センター 貿易に関する相談はこちらの窓口へ

【東部窓口】

- （財）鳥取県産業振興機構企業支援部
海外支援グループ
TEL 0857-52-6703
- ジェットロ鳥取貿易情報センター
TEL 0857-52-4335

【西部窓口】

- （株）さかいみなと貿易センター
TEL 0859-47-3900
- 境港貿易振興会
TEL 0859-47-3905

【その他関係機関】

- 境港管理組合港湾管理委員会事務局
TEL 0859-42-3705
- ジェットロ貿易相談デスク
TEL 0859-45-2203